

## 本校の新しい生活様式について

本校では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、以下のことを「新しい生活様式」の下、指導し環境整備に努めます。

### 環境

- ・教室換気のため、扉や窓を定期的にかける（空調設備を使用する際も）。
- ・児童の座席の間隔はできるだけ2m（最低1m）空ける。
- ・集会等学年を超えて集まる活動はできるだけ屋外で行う。
- ・手洗い場の水道は一つずつ間隔を空けて使う。
- ・発熱症状が見られた児童の待機場所（1階更衣室）を確保する。
- ・咳や鼻水をかんだティッシュ、使用済みのマスク用の蓋つきごみ箱を各フロアに用意する。

### 児童

- ・毎朝起床時の検温、健康チェックを習慣化させる。
- ・発熱・風邪症状のあるときは登校させない。
- ・日常的にマスクを着用させる（熱中症に注意し、必要に応じて外すよう声を掛ける）。
- ・校舎に入る際の検温、手洗い、手指消毒を習慣化させる。
- ・児童同士の物の貸し借りはさせない。
- ・清潔なハンカチ、マスク（予備のマスクをランドセルに入れておく）、マスクを入れる清潔な袋を毎日持ってこさせる。

### 教師

- ・室内では、マスクを着用して指導にあたる。
- ・児童と話す場面では、十分に距離をとり、できるだけ正面を避けて話す。

<場面ごとの指導と環境整備>

### 登下校

- ・バスや電車に乗る場合は必ずマスクを着用させる。
- ・登校後、検温、手洗い、手指消毒を行わせる。
- ・授業終了後速やかに下校させる。

### 休み時間

- ・できるだけ外に出て遊ぶように指導する。
- ・教室の窓を全開にして換気する。

- ・雨の日は教室内に担任が残り、児童同士が接触したり大きな声で話したりするような遊びは行わせない。

#### 給食

- ・配膳台を毎回消毒する。
- ・向かい合って食べさせない。
- ・黙食を徹底し、食べることに集中させる。
- ・流しで密になること避けながら、歯磨きをさせる。

#### 掃除

- ・マスクを着用して行わせる。
- ・開けられる窓は開け、換気をしながら行う
- ・掃除後には必ず石鹸を使って手を洗わせる。

#### トイレ

- ・出入口のドアは完全に閉まらないようにし、常に換気をする。
- ・換気扇は常時運転させておく。

#### その他

- ・手洗い、手指消毒を徹底する。

- ①校舎に入るとき    ②咳やくしゃみ、鼻をかんだとき    ③給食の前後  
④掃除の後            ⑤トイレの後                            ⑥共有の物を触ったとき